

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Wing-Gardenときわ台 ・ 西台			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 17日		～	2025年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	ときわ台41人・西台32人	(回答者数)	ときわ台30人・西台22人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 17日		～	2025年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	ときわ台8・西台6人	(回答者数)	ときわ台6人・西台6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 9日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の個々の発達状況、特異性に応じた柔軟な個別と小集団の活動ができる	毎日の活動の中において、利用者も気持ちの浮き沈みがあったり決められた通りにはいかないことの方が多い。 紙を使った創作やアイロンビーズなど気持ちが落ち着ける創作を常に用意している。	常に職員間で様々な意見を出し合い新しい事を見つけ、一人ひとりに合ったよりいい支援を見つけている。
2	毎日5領域に基づいたプログラムを実施し、季節の行事、クッキング、課外活動、買い物体験等の様々な体験をしている。苦手な事にも挑戦したり経験値を増やしていくことができる。	プログラムは参加するしないは別とし、利用者全員に声掛けし参加を促す。 決して強要はせず興味も持った時には取り掛かってもらう様にし、利用者の主体性を大切に利用者からもプログラムのリクエスト聞き取り入れている。	子ども一人ひとりに寄り添い一人一人のペースに合わせていく。また出来た事を大いに褒め、自信に繋げて行けるような取り組みを行っていききたい。
3	保護者への支援	毎日の支援の活動内容を保護者に文章と写真付き連絡帳アプリで伝え、また送迎時直接保護者にお伝えしている。 どのようなプログラムを行ったのか、参加の状況、また利用者同士小集団の中でコミュニケーションの状況等その日の様子を伝え、また支援の可視化が必要だと考えている。 また、子育てに対する悩み事等その都度相談に乗っている	これまでも行ってきたが、連絡帳アプリで伝えきれていない所については、送迎時保護者へのフィードバック、またInstagramのボトムアップを図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	商店街の方々に協力いただき節分、ハロウィン、商店街職場見学等、自衛隊駐屯地、消防署職場体験、東京都立移動水族館海くる号を 大山遊座商店街の皆様にご協力いただき地元密着でお祭りも企画してまいりました。今後も継続していきたい。	これからも引き続き地域の皆様のお力添えをいただきながら、地域密着の事業所を目指していきたい。 今後は特に職場体験を多く取り入れていければと思う。
2	他事業所との連携	四季を通じてお芋堀りなどの課外活動を行ってきた。 今後も他事業所と季節のイベントなどを取り入れていきたい。 また他事業所との連携は上限管理、他ケース会議などで比較的取れているほうではないか。	今後も引き続き他事業所、相談支援員、福祉事務所、行政とは連携を図り情報の共有を行い、よりより支援に繋げていきたい。
3			